

支援センターだより

新潟県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

2023年3月 第33号



犯罪被害者週間新潟大会 (犯罪被害者支援フォーラム2022 in にいがた)

「犯罪被害者週間（11月25日～12月1日）」に合わせ新潟県、新潟県警、公益社団法人にいがた被害者支援センターが主催し、犯罪被害者週間新潟大会（犯罪被害者支援フォーラム2022 in にいがた）を開催しましたので、概要についてお知らせします。



日時：11月5日（土）午後1時30分～午後4時00分
場所：新潟ユニソンプラザ 多目的ホール

・表彰式

「犯罪被害者等支援功労知事表彰」

- ・個人表彰 川上 耕 氏
武井 槇次 氏
- ・団体表彰 新潟県弁護士会

・作文朗読

「命の大切さ」

（令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生
作文コンクール警察庁犯罪被害者支援室長賞）

中学生の部

新潟市立木戸中学校3年生 関川 健斗さん

・基調講演

テーマ「犯罪被害者と隣人」

講 師 毎日新聞記者 川名 壮志 氏



研修を積んだ相談員が対応します。

秘密厳守・相談支援無料

相談電話

新潟地区

☎ 025-281-7870

中越地区

☎ 0258-32-7016

上越地区

☎ 025-522-3133

●相談日 月～金

（土日祝日 12/29～1/3までを除く）

●相談時間 10時～16時

性暴力被害者のための全国共通短縮ダイヤル
（ハヤクワンストップ）
8891（365日 24時間）

全国共通ナビダイヤル ☎ 0570-783-554

●相談時間 7時30分～22時00分（12/29～1/3までを除く）

基調講演（要旨）

「犯罪被害者と隣人」

講師 毎日新聞社記者 川名 壮志 氏
佐世保小6女児同級生殺害事件



初めまして。毎日新聞記者の川名と申します。僕は2001年に毎日新聞社に入社し、初任地は長崎県佐世保市の佐世保支局でした。これから記者4年目、まだ駆け出しの頃に体験した事件の話をします。佐世保小6同級生殺害事件です。殺害された女の子は、毎日新聞佐世保支局の支局長の娘、つまり上司のお嬢さんだったのです。

全国紙といっても、佐世保支局は支局長兼デスク、僕、もう1人の新人記者、事務の女性の、たった4人しかいない小さな支局でした。支局長は御手洗恭二さんという記者20年目のベテラン。佐世保支局に赴任する前に奥さんを亡くしており、支局の3階で中学3年生の息子と小学校6年生の娘の3人で暮らしていました。

支局の記者は地方版の記事を書くのが仕事で、タウン誌の記者と変わりません。大事件が1面、社会面に載ることはほぼありません。地方版の記事を書いて出稿して、空いた時間に御手洗さんは3階に上がって夕飯を作る。僕は独身だったので一緒に夕飯を食わせてもらうことがよくありました。その意味で家族同然の付き合いをしていました。御手洗さんの娘の怜美（さとみ）ちゃんとも食卓を囲む関係でした。

2004年6月1日、梅雨入りの記事を書いた翌日のことです。昼過ぎに後輩から「大久保小学校で子供が怪我をしたみたいです。救急車で運ばれたみたいです」という電話が入ったのです。取材先から車で戻る途中「女の子、死んだみたいです」とまた電話があり、慌てて支局に戻ったら御手洗さんがいませんでした。しばらくすると御手洗さんから電話がかかってきました。「怜美が死んだ」と電話口で言われたのです。あまりにも突然の出来事で、その時の僕には意味が理解できませんでした。

僕は何が何だか分からず、ただ茫然としていたら、御手洗さんが支局に上がってきました。「これ多分、事件だわ。会社に連絡して」。それが御手洗さんの言葉でした。支局を去っていく御手洗さんの背中が、今でも忘れられません。まさかこんな事件が起きるなんて、夢にも思っていませんでした。

6年後に聞いたお兄さんの話

御手洗さんから「会社に連絡して」と言われた僕は福岡総局に電話したのですが、たらい回しにされた挙句、福岡の社会部デスクから「じゃあ原稿を吹き込んで」と言われました。支局の時計を見たら、夕刊のめぎりぎりの時間でした。足がガクガク震え、怒りも湧きました。同時に初めて自分が新聞記者なのだ実感しました。

その後、本社から続々と応援がきました。翌日の朝刊1面に大きく記事が載り、その日から毎日1面と社会面に記事が載りました。僕も取材に加わり、記事を書く側に回りました。

僕は怜美ちゃんと夕食を囲むような間柄でした。御手洗さんとも上司と部下の関係でした。それなのに取材対象者と取材する側の立場になってしまったのです。自分是人でなしに成り下がった、と思いました。

どうしてそんなことができたのか。事件直後は、上司から「いい加減な報道で怜美ちゃんを2度、殺すわけにはいかない」と言われましたし、先輩からは「ちゃんとした取材で正確な記事を書け」と言われました。自分でも、そうなのか、と思っていたのです。

でも本当は違いました。想像もできない事件に巻き込まれて、怖かったのだと思います。当事者の側になりたくない、という気持ちが働いたのです。この悲しみに引きずり込まれたら、自分は立ち直れない。その思いがあったのだと思います。少年審判までの100日間程、僕は1日も休みませんでした。素の自分に帰ることが怖かったのです。

それでも事件報道は、司法手続きが終わると、格段に減っていきます。加害少女が児童自立支援施設に入所し、少年審判が終わると応援の記者も佐世保支局からいなくなりました。当然ですが、社会の関心も薄れていきます。

でも僕は、これで事件が終わることに違和感を覚えていました。このまま報道が終わっていいのか、と思ったのです。そして、ひとつ気がかりだったことがありました。それは、中学3年生だった怜美ちゃんのお兄さんのことです。彼は怜美ちゃんと仲がよかったのです。

そこでお兄ちゃんが20歳になったときに「よかったら話を聞いていいかな？」と尋ねたのです。すると、二つ返事で「いいよ」と言われて拍子抜けしました。なぜ取材に応じてくれたの？と聞くと「話を聞いてくれたのは川名さんが初めて。6年間、誰も耳を傾けてくれなかった」と言うのです。

家族に言えないことを言える、家族が言えないことを言える「隣人」の存在

実はお兄さんは、怜美ちゃんから加害少女とのトラブルを相談されていました。自宅で加害少女と一緒にゲームをしたこともあったそうです。でも誰にもそれを打ち明けられなかったのです。父親である御手洗さんのことが気になって「このまま死んじゃうんじゃないかと思った。自分が泣いたら駄目だと思って感情に蓋をした」と当時を振り返ります。

月日が過ぎて御手洗さんが職場復帰する一方で、お兄さんは学校に行けなくなりました。犯罪の被害者にも、立場によって苦しみの方差があるのです。被害者は、自分が苦しんでいることを、家族と話すことはできません。それは生傷と生傷をぶつけるようなものだからです。それでも、他人だと話すことができることがあるのだと知りました。

お兄さんに話を聞いて驚いたのは、加害少女について「普通に生きてほしい」と言ったことです。「彼女には、普通に生きてほしい。僕、あの子に同じ社会で生きていてほしいと思っていますから。僕がいるところできちんと生きろ」と。さらに「謝るなら、いつでもおいで」と思っていることまで。お兄さんが突き詰めて考えた末の結論に、僕は胸を打たれました。

御手洗さんが事件から3年後に書いたコラムがあります。そこには「娘がいなくなっても悲しいという気持ちは消えないだろうけれど、幸せな思い出をたくさんもらったって思えないかな」という友人の言葉を考え続けている、と書かれています。犯罪被害者の方には、隣人の存在が非常に大きいと感じます。

家族ではないからこそ、被害者が「隣人」に言えることがある。そして、家族には言えないけれど、「隣人」には辛うじて言えることがある。犯罪の被害に遭われた方が、そう思う瞬間があるのだと思います。そんな時、自分が「隣人」の立場にいられるか。それがとても大事だと思います。



一日、一日に感謝して進んでいきたい！ 中学生からの熱いメッセージ



作文朗読で登壇したのは、新潟市立木戸中学校3年生の関川 健斗さんです。関川さんは、令和3年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール【中学生の部】で、中学生4,776作品から選ばれ警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞されました。

『命の大切さ』



令和2年12月「命の大切さを学ぶ教室」を受講しました。今まで、暴行事件やいじめによって自殺したというニュースを聞いても「自分とは関係ない」無縁だと思い日々過ごし、命の尊さについて真剣に考えたことがありませんでした。

しかし、今回の「命の大切さを学ぶ教室」で当時16歳だった息子さんを傷害致死事件で亡くしたお母さんが当時の出来事を話して下さいました。

4人の友人にお金の貸し借りをめぐって言い掛かりをつけられ、無抵抗の状態で暴行を受け、最も親しい友人も止めようとはせず、ただ眺めるだけだったという話が衝撃的で、もし自分が息子さんだったらと考えました。これからやりたい事、夢もたくさんあったはず。怖く、痛く、苦しかったと思うと、悲しみと怒りを感じました。

それと同時に被害者家族の方々の想像できない程の苦しみを考えると胸が締めつけられました。

そんな中、事件後、テレビや新聞の報道で皮肉めいた批判を受けたり心ない噂に悩まされ、一つの事件があれば、その後ろで遺族や家族が何重にも苦しんでいるという恐ろしい事実を知りました。私達の生活に欠かせない携帯電話やパソコンによるインターネットは正しい使い方をすれば、とても便利で生活を豊かにしてくれますが、使い方を間違えると人を傷つける武器にもなるということを、忘れず、正しい情報を見極める力を持たなければと改めて考えるきっかけとなりました。

また、講師のお母さんが事件の話をすることは、とても辛いと思います。

それでも、私達に当時の辛い事件を思い出し話をして下さいことは、息子さんと同じ事件を起こさないでほしいという願いからだとして強く感じました。私達はその願いをしっかりと受け止め、悪いことは悪いと見過ごさず勇気を持って立ち上がり、発言していくことから始めて行こうと思います。

そして、今当たり前だと思っていた日々の日常生活がどれほど幸せなことで、命があってこそだということ、事件や事故、病気などで、生きたくても生きられなかった若い命がたくさんあり、また命の終わりは誰にもわからないからこそ、今を大切に感謝して一日一日を過ごして行こうと思います。

天国にいるあなたへ

～被害者遺族の思い～ 第7集

にいがた被害者支援センター

自助グループ ひまわり



突然のさよなら

Aさん

2016年12月、父の三回忌をささやかにに行い母はとても満足そうでした。

その日は実家に泊まり、翌日の午後、「次はクリスマスに来るからねー」と言って帰路につきました。帰宅して玄関を開けると同時に電話の音が鳴り響き、慌てて出ると警察から母が事故に遭ったと言うのです。最初は、たった今別れたばかりの母でしたから「何かの間違いでは？人違いです」と訴えておりましたが、どうも母に間違いなさそう…「母の様子は？」と聞くと「それが…たった今、亡くなられました…」愕然としました。悪夢を見ている中、病院まで必死に運転していきました。到着して、横たわっている母に何度も「起きて！起きて!!」と叫びました。返事はありません。涙が止まりませんでした。

まもなく5年が経とうとしていますが、この光景は今でも鮮やかによみがえります。

父が亡くなって2年近く一人暮らしをさせてしまい母にとって、今後どうしたらよいのか考えなければと思っていた矢先でした。私自身、自分の人生の選択を間違ってしまったのではないかと悔やんだりもしました。もっと近くに住んでいれば…とか、同居していれば…とか。

加害者は二十歳を過ぎたばかりの青年でした。事故当時「ぼーっとしていた」それで母の人生は幕を閉じられてしまったのです。高齢とはいえ、まだまだやり残したこともたくさんあったはず。どんなに無念であったか…。来年は何処へ行こうかと、一緒に旅行も考えていたのに…。

加害者からのお参りはとても受け入れられず、四十九日が済んでから、暫くして顔を合わせました。その後も何度かお参りに来られましたが、どんなに頭を下げられても、母が帰ってくることはなく、こんなことにならなければ人生で出会うこ

ともなかったであろう加害者に対しては、どうしても誠意を感じることができませんでした。

葬儀を終え、しばらくぼっかりしていたある日、警察署から紹介されていた被害者支援センターへ思い切って電話をしてみました。私の話を寄り添うように優しく聞いてくださり、思い切り泣くことができました。その後、面談を経て、都度、何度も連絡をくださり、たくさんのアドバイスを、時には私の体調の心配まで、いただきました。

従兄弟からも、いつか、いつか…お母さんに会えた時、「出来るだけのことはしたよ。頑張ったよ」と言えるように悔いのないように、と励まされました。加害者に対しては、「母のことは一生忘れずに、人生を全うしてください」と申し上げました。

支援センターより弁護士さんも紹介していただき、損害賠償の力になってもらいました。

裁判では、禁固1年6月、3年間執行猶予となり、令和3年の4月には、執行猶予の縛りも解けたんだなとしみじみ思いました。

母の事故から、救急車を見るたび、音を聞かたび、母のことを思います。母も事故現場から乗せられ運ばれたんだと想像すると、目を覆いたく、耳を塞ぎたくなります。そして私自身は、とにかく意識して安全運転を心掛けるようになりました。

先日、妹と久しぶりに顔を合わせ、話す機会がありました。母のことはお互い癒えてはいませんが、もうすぐ5年という時間が、少しずつ私たちに落ち着きを与えてくれているような、ここまで長かったようなあっという間だったような不思議な時間…こんなことを話しました。

支援センターの方々をはじめ、たくさんの方々から助けていただき、ここまで来れました。

母が亡くなり、5年近く空き家になっている実家を少しずつ片付け始めています。

2022年度 支援活動報告

講演・広報啓発・研修等

新型コロナウイルス感染症防止のため講演、広報啓発活動、研修等については中止やオンライン研修等により事業を縮小して実施しました。

● 講演

- 6月 魚沼市安全運転管理者部会「事業主研修会」(井口専務理事)
- 7月 新潟保護観察所「保護司指導力強化研修」(井口専務理事)
- 8月 全国被害者支援ネットワーク「令和4年度支援活動責任者研修」<Zoom>
(中曽根犯罪被害相談員)
- 西福寺「人権について考える」(中曽根犯罪被害相談員)
- 全国被害者支援ネットワーク「令和4年度質の向上上半期研修会」(中曽根犯罪被害相談員)
- 10月 警察学校「交通事故事件捜査専科教養」(中曽根犯罪被害相談員)
- 11月 公共交通事故被害者支援フォーラム(井口専務理事)
- R5年1月 全国被害者支援ネットワーク「令和4年度質の向上下半期研修会」(中曽根犯罪被害相談員)
- 2月 全国被害者支援ネットワーク「コーディネーター研修後期」(中曽根犯罪被害相談員)
- 2月 全国被害者支援ネットワーク「令和4年度質の向上下半期研修会(東海・北陸ブロック)」
(中曽根犯罪被害相談員)

● 広報

- 新潟交通バス車内放送(上所線・水島町線)年間
- JR東日本車両内掲示(県内全線)令和4年12月から実施
- 新潟日報広報掲載5回(にいがた被害者支援センター3回、性暴力被害者支援センターにいがた2回)
- SNS(Twitter)広告配信による広報
令和2年8月からTwitterによる広告配信を実施し、ホームページの閲覧件数が大きく増加しました。

● 支援活動員研修等

継続講座(年12回)、直接支援(年6回)

- 全国被害者支援ネットワーク主催各種研修会参加

・ 質の向上研修上半期研修	8月27日～28日	3人出席	山梨
・ 秋期全国研修会	10月15日～16日	3人出席	東京
・ 質の向上研修下半期研修	1月28日～29日	3人出席	山梨
- 県弁護士会・法テラスとの意見交換会の開催(12月6日) <Zoom> 16人出席
- 県臨床心理士会との意見交換会の開催(12月17日) 11人出席

● 性犯罪被害者支援啓発カードの作成と配布



- ・ 性犯罪被害者支援啓発カードを、12月中に県内全ての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の全児童生徒に配布しました。
- ・ 県内全ての国公立、私立の高等学校に、カタログケースと「もしもの時の大事なお話」の冊子を送りました。

被害者支援自動販売機の設置によるご支援のお願い

にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、社会貢献活動の一環として被害者支援自動販売機の新規設置、または切り替えをしていただける事業所・団体を募集しています。設置・切り替えをしていただくことにより、自動販売機の売り上げの一部が当センターに寄付されるシステムとなっています。ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。(ご連絡はセンター事務局025-281-2131)

「被害者支援自動販売機」設置企業・団体様のご紹介 (令和5年2月1日現在 設置台数161台)

新潟市

(一社)日本自動車販売協会連合会新潟県支部
(医法)青山信愛会新潟信愛病院/7台
(株)上杉興業/2台
(株)ケー・ピー24
(株)サン・メタル
(株)新潟関屋自動車学校
(株)新潟中央自動車学校
(株)新潟文化自動車学校
(株)日青堂
(株)ハマサービス オリックスレンタカー
(株)LIXILトータルサービス新潟営業所
ガレージプロセス
小林一郎商店(新潟大学前駐車場)
三幸総業(株)
朱鷺メッセエスプラナード
新潟県司法書士会
東日本高速道路(株)新潟支社道路管制センター
HondaCars新潟系列店/10台
(青山東店、新潟店、桜木インター店、青山店、牡丹山店、南店、黒埼店、横越店、U-select新潟、新潟センター)
丸克建設(株)
(有)オービット
(有)瀬戸川工業所
(有)ランニング物流センター
涌井建設工業(株)

下越地域

(株)水原自動車学校
小柳産業(株)/2台

三条地域

JA にいがた南蒲/4台
土田商店
オリロー(株)

長岡地域

(株)佐藤土建
JA 越後さんとう/4台
長岡千秋が原公園/3台

上越地域

(株)草間組/2台
(株)中元組小出舗道整備工事事務所
(株)ローテック
田中運輸機工(株)/2台
田中産業(株)/4台
萬代電業(株)/2台(魚沼・高田営業所)
(株)ミヤトウ野草研究所/3台
雄志レジデンス

佐渡地域

萬代電業(株)(佐渡営業所)
(株)萩田換地
萩田ビル

合計 75 台

県立新潟高等学校、県立十日町高等学校、県立松代高等学校
県立五泉高等学校、新潟県庁/2台、美咲合同庁舎2号棟/10台
早通コミュニティセンター/1台、新潟地検/4台、新潟地検長岡支部/1台、
警察本部及び各警察署に合計64台設置しています。

協力飲料メーカー

- (株)アベックス
- (株)伊藤園
- (株)コーシン
- (株)塚田牛乳
- (株)和光ベンディング
- FVジャパン(株)
- 小柳乳業
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- サントリービバレッジソリューション(株)
- 新発田ヤクルト販売(株)
- 上越ヤクルト販売(株)
- ダイトードリンコ(株)
- (有)石井乳業

広報活動

9月7日（水）早通コミュニティセンターへの自動販売機設置表彰



新潟県主催「県民交通安全フェア」

9月13日（火）に新潟テルサで行われました。

各市町村の交通安全指導員や交通ボランティアが参加する会場で、にいがた被害者支援センターの展示を行いました。センターの支援内容が書かれたリーフレットやカード、自助グループの冊子を渡しながらセンターの説明をさせていただきました。



パープルライトアップ 〈令和4年度 女性に対する暴力をなくす運動〉

運動のテーマ 『性暴力をなくそう』

令和4年11月12日（土）から18日（金）の間（公財）新潟県女性財団と協力し、新潟ユニゾンプラザの1階イベント広場で午後5時30分から午後8時30分まで女性に対する暴力根絶のシンボルカラーの点灯をするとともに、広報記事の展示を行いました。



被害者支援を考える月間に合わせ、

「犯罪被害者等支援を考える新潟県縦断パネル展」

を開催しました

県民の皆さんに、犯罪被害者等支援に関する理解を深めていただくため、被害者の在りし日の家族写真、ご遺族の手記、遺族講演会を聴講した中学生・高校生の感想、被害者等の置かれている状況、民間支援団体の活動などのパネル展示を、「被害者支援を考える月間」に合わせ、新潟県5市町村で行いました。

各会場では、ホンテリング回収ボックスを設置し、書籍等の寄附を募りました。寄附された書籍等の売却代金は、にいがた被害者支援センターの支援活動に役立てられます。

●胎内市
胎内市本庁舎ロビー
11/21(月)～29(火)



●関川村
関川村役場1階ロビー
11/8(火)～17(木)



●柏崎市
柏崎市役所本館1階ロビー
11/22(火)～12/1(木)



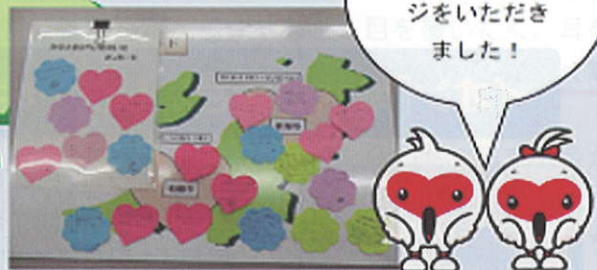
●新潟市
内野まちづくりセンター
11/2(水)～11/15(火)



●湯沢町
湯沢町公民館ロビー
10/20(木)～27(木)



各地でたくさん
のメッセージをいただき
ました！



新潟県警察

(公社) にいがた被害者支援センター

新潟県ホームページから転載

新潟県では毎年11月を「被害者支援を考える月間」と定め、県民全体で犯罪被害者等を支え、県民誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し広報活動をしています。新潟県・にいがた被害者支援センター・新潟県警察の共催で新潟県縦断パネル展を開催しました。

「思い出の写真を貼ったひまわり」や、にいがた被害者支援センターのリーフレット、被害者遺族が書かれた手記集などを展示し多くの方から手に取っていただくことができました。

令和4年4月に第8期生として支援活動員に採用され現在、電話相談実務研修をおこなっている方々を紹介します。

「支援センターだより32号」で紹介した3名に続き、意欲あふれるフレッシュな仲間の被害者支援に対する気持ちをお読みください。



人の価値観はそれまで生きてきた成育歴によって様々です。同じ出来事でも受け止め方や感じ方、その後に表出する言動は、その人の価値観に基づく判断の違いによって変わってきます。加害者によって問題が引き起こされて被害者となった時、置かれた状況を察知し正確に理解して、冷静に考えて最適解(最も良い解決策)を見つけることは、予測不能で備えのない中では難しいかと思います。

私は突然被害に遭い困っている被害者の方が、僅かでも心の安らぎが得られるような支援員を目指したいと思います。(N、D)

日ごろから昨今の犯罪においてはその被害者等が本来の手續制度では十分救済されず、権利名誉がないがしろにされ、保護に欠ける場面が多く見受けられるように感じていました。今後は支援員として過去の経験知識を活かし、被害者等の方々とは適切かつ良好な関係を保ちながら、可能な限りその意向実現に十分寄り添って活動を続け、だれもが安心して生活できる社会の実現に寄与していきたいと考えています。

(キハ110)



イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」でのご協力のお願い



イオンリテール(株)様では地域社会への貢献の一環として地域で活動するボランティア団体等に助成する「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、店内各所に設置された当センターボックスに投函して頂きますと、レシート金額1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から、当センターへ寄贈されます。

当センターでは、これを支援活動等の事務用品などに有効活用させていただきます。

にいがた被害者支援センターのボックス番号はNo13です。

皆様のご協力をお願いいたします。

皆様のご支援ありがとうございます。

協力者御芳名

(2022年4月1日から2023年1月31日までの会費及び寄付を
頂いた方々を掲載させていただきました。 順不同・敬称略)

正会員・団体

新潟県市長会
新潟県精神科病院協会
関東信越税理士会新潟県支部連合会

新潟県町村会
新潟県精神保健福祉協会
学校法人新潟青陵学園

新潟県弁護士会
(一社)新潟県医師会



正会員・個人

井口 善雄
池田 伸一
伊藤 末松
稲餅 武雄
井上 桐子
宇田 正
運上 司子
江花 里都
遠藤 和成
大木 満子
大澤 優子
大島 照美子

大竹 玲子
大橋 純子
荻野 佳美
落合 光雄
貝瀬 尚久
金子 英明
上村 アイ子
川上 耕
北山 桂子
栗山 啓
桑原 昭彦
甲野 勝機

小島 功
小濱 恵子
小林 ひとみ
駒野 祐子
近藤 麻美子
櫻井 香子
佐藤 志津
佐藤 理智子
山後 晴雄
椎谷 周平
早福 弘
反町 道夫

高野 義雄
高橋 由美子
瀧澤 尚以
橘 玲子
津野 恒子
中嶋 久美子
中曽根 えり子
長塚 康弘
中村 協子
中村 知子
饒村 悠子
畠山 典子

平尾 公子
藤巻 強生
星野 理香
眞壁 伍郎
村山 美和
渡邊 定行
渡邊 千香子
渡辺 豊

(五十音順)
他匿名希望者13名

賛助会員・団体

(公財)新潟県暴力追放運動推進センター
(公財)新潟県交通安全協会
(公社)新潟県看護協会
(一財)新潟県自動車練習所
(一社)五泉市東蒲原郡医師会
(一社)三条市医師会
(一社)新潟県安全運転管理者協会
(一社)新潟県解体工事業協会下越支部
(一社)新潟県解体工事業協会中越支部
(一社)新潟県警備業協会
(一社)新潟県指定自動車教習所協会
(一社)見附市南蒲原郡医師会
(医法)青松会 松浜病院
(医法)恵和会 木暮歯科
(医法)ダイセイ歯科クリニック
(医法)津南デンタルクリニック
(医法)根津歯科医院
(医法)松崎歯科医院
(特医法)楽山会三島病院
(学法)明倫学園明倫短期大学
(社福)グループホームやしるだ
(弁法)砂田徹也法律事務所

(株)エーアイクリエイト
(株)大橋商会
(株)島津組
(株)C・S・U
(株)全研ビルサービス
(株)ソーゴ
(株)たいよう共済新潟支店
(株)大創
(株)燕タクシー
(株)トーア
(株)萩田換地
(株)福田組
(株)三原田組
(株)ワールドライン
(株)渡大組
(有)内山ダンススクール
(有)マルヨシ自動車整備工場
アドリテム司法書士法人
沖歯科グループ
頸城自動車(株)
桑原歯科医院(下木戸)
県央加工協同組合

小林石油(株)
新発田ガス(株)
セコム上信越(株)
富山電気(株)
新潟総合警備保障(株)
新潟万代島総合企画(株)
日本海エル・エヌ・ジー(株)
北越警備保障(株)
マルソー(株)
新潟県行政書士会
新潟県警友会連合会
新潟県建設業協会と板支部
新潟県民共済生活協同組合
新潟県自動車販売店協会
新潟県司法書士会
新潟県遊技業協同組合
新潟県労働金庫
新潟信用金庫
日本歯科大学新潟生命歯学部
山川歯科医院

賛助会員・個人

相澤 豊	小幡 政行	嵯峨 トシ	中澤 泰二郎	細野 紀雄
青木 和司	貝瀬 松美	坂井 秀哉	中村 久子	前山 憲三
青柳 芳郎	風間 康則	酒井 正昭	中村 俊光	丸山 富夫
安達 洋幸	金子 和子	櫻井 春夫	中村 光春	水莖 芳英
阿部 隆	鬼島 基伸	櫻井 英喜	鍋谷 總子	水野 俊一
五十嵐 久	木村 眞悟	佐野 稲子	西山 正	宮崎 正夫
池田 正友	久我 正作	佐原 菖一	二平 正司	武藤 末次
石川 伊作	工藤 和雄	須貝 恵吉	丹羽 正夫	村山 和子
石塚 誠一	久保田 陽子	菅原 陸	庭野 カツ	森 二十男
和泉澤 貞子	栗賀 隆	須佐 恭一	根津 明子	森田 敏明
板垣 隆	栗山 英雄	関 洋一	野上 信子	山上 保栄
稲餅 三重子	栗山 祥子	瀬藤 純	野口 祐郁	山岸 良男
今井 千恵子	栗山 勝江	相馬 清吉	野澤 修	山田 一
今田 芳明	栗山 宣子	高岡 光夫	野村 綏毅知	山野 芳生
入山 隆	栗山 美智子	高島 葉子	橋本 謹也	山本 純市
氏家 信彦	香田 一男	高橋 一輝	長谷川 虹兒	余湖 真由子
内山 眞理子	後藤 直樹	高橋 和博	長谷川 進	横田 光義
江森 謙太郎	小林 彰	高橋 高一	半戸 哲夫	吉田 耕二
遠藤 記恵子	小林 敬	高橋 勝	半藤 千枝子	渡辺 幸子
大澤 紀子	小林 澄夫	竹内 邦彦	平澤 敏夫	渡辺 雅直
太田 等	古俣 英樹	田下 厚子	廣川 明	渡部 信子
大平 健二	小松 茂樹	田中 稔	広沢 憲隆	
大矢 靖夫	小村 隆	津野 敏江	廣島 ひろ子	(五十音順)
岡村 厚	小山 高司	鶴巻 信朗	藤澤 直子	他匿名希望者 1 名
小熊 力	小山 晴代	中川 紀子	藤田 善六	
押見 清雄	近藤 正明	永倉 税	古川 尚史	
小野 栄	齋藤 卓也	中倉 一浩	星野 浩二	

寄付・団体

(一社)新潟県安全運転管理者協会
 (株)新潟ケンベイ
 (弁法)一新総合法律事務所
 イオンリテール(株)
 糸魚川警察署
 県警初任課第328期第2学級
 燕警友会
 燕警察署
 国際ロータリー第2560地区
 ロータリー地域協働ネットワークセンター

燕市保護司会
 十日町警察署
 長岡地区保護司会
 長岡ライオンズクラブ
 長岡柏ライオンズクラブ
 長岡蒼柴ライオンズクラブ
 新潟万代ロータリークラブ
 新潟県信用保証協会

新潟県農業総合研究所
 (畜産研究センター)
 南魚沼地域振興局農林振興部
 新潟中央警察署
 表示灯(株)東京支店
 ミツワ興業(株)
 運転免許センター募金箱



寄付・個人

安孫子 幸子	大花 真人	桜井 憲一	高野 毅	橋本 良弘	山本 千鶴
阿部 和弘	押見 清雄	佐藤 晃	高野 義雄	長谷川 進	若槻 良宏
阿部 弘行	片沼 貴志	佐藤 袁也	武井 禎次	藤巻 元雄	和田 武次
有坂 康治	金子 和子	佐藤 京子	田辺 顕子	堀川 誠一	
井口 善雄	川上 耕	佐藤 敏彦	田伏 智	松山 悦子	(五十音順)
池 淳一	北山 桂子	佐藤 隆司	田村 直子	丸山 昌治	他匿名希望者6名
今井 直樹	栗山 啓	菅井 育生	堂前 洋一郎	水内 基成	
岩崎 治光	小出 行雄	関川 淳	徳永 昭輝	村山 美和	
宇田 正	甲野 勝機	大道寺 雅夫	中澤 泰二郎	山崎 堅輔	
遠藤 英子	小林 ひとみ	高岡 光夫	野口 祐郁	山野 芳生	

ホンデリング

今井 礼世	菅原 英二	山崎 豊	新潟信濃川ライオンズクラブ
富士通(株)NiigataHub	新潟県県民生活課	県警被害者支援室	新潟西警察署
村上警察署	新発田警察署	五泉警察署	燕警察署
与板警察署			

公安委員会・警察本部

新潟県公安委員会	新潟県警察本部長	総務課	教養課	広報広聴課
警務課	留置管理課	会計課	装備施設課	監察官室
厚生課	情報管理課	生活安全企画課	子供女性安全対策課	少年課
生活保安課	サイバー犯罪対策課	地域課	通信指令課	鉄道警察隊
刑事総務課	捜査第一課	捜査第二課	捜査第三課	組織犯罪対策第一課
組織犯罪対策第二課	鑑識課	科学捜査研究所	機動捜査隊	交通企画課
交通指導課	交通規制課	運転免許センター	交通機動隊	高速道路交通警察隊
警備第一課	警備第二課	外事課	機動隊	警察学校

警察署

新潟署	新潟中央署	新潟東署	新潟西署	江南署
新潟北署	秋葉署	新潟南署	西蒲署	村上署
新発田署	阿賀野署	津川署	五泉署	燕署
三条署	加茂署	長岡署	見附署	与板署
小千谷署	小出署	十日町署	南魚沼署	柏崎署
上越署	妙高署	糸魚川署	佐渡署	



※誤字・脱字がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

ご家庭に読み終わった書籍はありませんか？



ホンデリングで被害者の支援を！

あなたの本が、犯罪被害に遭って身体や心を傷つけられたり、大切なものを失ったりして苦しんでいる方たちへの支援活動に繋がります。

詳しくは、にいがた被害者支援センターへお問い合わせください。

支援のお願い

にいがた被害者支援センターの活動は、皆様の賛助会費や寄付金に支えられ運営されています。皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

【第四北越銀行】

口座名義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター 代表理事 野口祐郁
シャ・ニイガタヒガイシャシエンセンター
県庁支店 普通預金 5016791

【郵便局】

口座名義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター
口座記号番号 00530-1-84482

* 専用振込用紙はセンター事務局にあります。

ご支援くださる方は、電話・FAXまたはEメールでご住所、お名前を事務局までご連絡ください。振込用紙をお送りいたします。

センター事務局 電話・FAX 025-281-2131 (TEL: 025-281-2131)

Eメール nvsc7870@able.ocn.ne.jp

賛助会員の年会費

個人会員 一口 1,000円

法人・団体会員 一口 10,000円

* 一口以上何口でもご加入いただけます。



当センターへの賛助会費・寄付金は特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄付優遇措置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄付金は税額控除の対象になります。

支援センターだより 第33号

(2023年3月)

編集・発行：公益社団法人
にいがた被害者支援センター

事務局：〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-3
新潟ユニソンプラザハート館
TEL・FAX 025-281-2131
<https://www.n-vsc.jp/>